

【71】四国の川と山とは西日本一

地図に詳しい人たちの間で近頃話題になっているようですが、四国で一番長い河川は「四万十川（しまんとがわ）」とされているけれど、本当は四国三郎と呼ばれる「吉野川（よしのがわ）」の方が長いのではという疑問です。

国土交通省のデータでは、「幹川流路延長」と称されている一級水系の幹川の長さとして四万十川は 196 km、吉野川は 194km とわずか 2km の差です。

ある人が国土地理院の地図上で、素人作業ですが、青い線で示されている河川上流部の先端を水源として測定してみたところ、四万十川は 179.5 km、吉野川 197.3 km という数字を得たそうで、吉野川の方が 20km 近く長くなります。（備考）

国土交通省の数字は、昭和 39 年（1964 年）に明治時代以来の河川法に代わって（新）河川法が制定されたときに定められたようですが、河川管理の対象とする長さと自然の河川の長さとの違い、河川改修や河口埋立地により長さが変化しているとか等の理由により、現時点で見ると色々問題もありそうです。

初めの制定以来 60 年近くになるので、全国的な統一基準ですべての河川の長さを改めて点検する必要があるそうです。

以上の議論で、河川協会発行の「河川ハンドブック」に載っている国土交通省の幹川流路延長の表を眺めていたら、四万十川の 196km という長さは近畿地方以西のいわゆる西日本で一番長いことに気がきました。

それではと反射的に山の高さを調べると（これは定義に問題なく正確ですが）、何とまあ四国は愛媛県の石鎚山（いしづちさん、1982m）が、奈良県の大峰山系の最高峰の八経ヶ岳（はっきょうがたけ、1915m）、鹿児島県屋久島の宮之浦岳（みやのうらだけ、1936m）をしのいで西日本の最高峰なのです。

面積でいえば西日本全体 13 万平方キロメートルの 15% の 2 万平方キロメートル弱しか無い小さい四国に、一番長い川と一番高い山があるのです。

単なる偶然とも思えず、プレートテクニクスとか地形地質の難しい議論があるのかも知れませんが、クイズ的興味としても不思議に思ったので紹介します。

こんな事とつくに知られている話でしたら私の不明をお許してください。

（備考） 地図帳の深読み、 今尾恵介著、 2019 年、 帝国書院